



平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月26日

上場会社名 株式会社 オークワ 上場取引所 東大  
 コード番号 8217 URL <http://www.okuwa.net>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 福西 拓也  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役財務本部長 (氏名) 森川 昌幸 (TEL) 073(425)2481  
 四半期報告書提出予定日 平成23年12月28日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第3四半期の連結業績(平成23年2月21日～平成23年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	221,986	3.9	4,227	12.7	4,518	14.6	1,345	△18.7
23年2月期第3四半期	213,592	△0.8	3,751	11.4	3,943	13.5	1,654	44.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第3四半期	30.09	—
23年2月期第3四半期	37.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第3四半期	143,616	78,224	54.5	1,750.14
23年2月期	138,683	78,199	56.4	1,749.23

(参考) 自己資本 24年2月期第3四半期 78,224百万円 23年2月期 78,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
24年2月期	—	13.00	—		
24年2月期(予想)				13.00	26.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年2月21日～平成24年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	298,500	2.9	7,050	7.8	7,200	6.5	2,050	△34.0	45.86

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期3Q	45,237,297株	23年2月期	45,237,297株
24年2月期3Q	541,108株	23年2月期	532,152株
24年2月期3Q	44,701,253株	23年2月期3Q	44,712,855株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による生産活動の低下から一時回復傾向にあったものの、欧州危機に伴う景気減速懸念や歴史的円高の進行等により、先行き不透明な情勢となっております。

小売業界におきましては、消費者の生活防衛意識が高まり、非常に厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社は『独自性と地域性を活かした商品構成と販売手法を確立し、業務改革推進による効率改善を迅速に行い、業界のリーディングカンパニーを目指そう』を本年度スローガンに掲げ、業務を進めてまいりました。業務改革については、昨年設置した『業務改革室』を中心に、モデル店舗で改善活動を行い、そこでの成功事例を各店へ水平展開しております。

㈱オークワは、2月にSSM業態の「名古屋守山店」(愛知県名古屋市)、3月にスーパーセンター業態の「みえ朝日インター店」(三重県三重郡朝日町)、4月にSSM業態の「高槻大塚店」(大阪府高槻市)及びスーパーセンター業態の「坂祝店」(岐阜県加茂郡坂祝町)、10月にスーパーセンター業態の「橋本店」(和歌山県橋本市)及びスーパーセンター業態の「海南店」(和歌山県海南市)の6店舗を新設いたしました。

また、既存店舗では9月上旬の台風12号により、新宮駅前店(和歌山県新宮市)、プライスカット神倉店(和歌山県新宮市)、古座川店(和歌山県東牟婁郡古座川町)の3店舗が浸水被害を受けました。このうち古座川店は特に被害が大きく、店内商品、什器、設備機器が全損したことから、11月上旬に完全復旧するまで約2ヶ月、店頭等での仮営業を余儀なくされました。

当第3四半期連結累計期間の販売状況は、豊富な品揃えと低価格を実現したスーパーセンター業態、こだわりの商品を取り揃えたメッサ業態などは好調に推移いたしました。全業態ベースの既存店売上高は100.1%となりました。

連結子会社については、高質スーパーを主力とする㈱パレや食品スーパーの㈱ヒラマツが当社とのシナジー効果等により、大幅な経常利益の増加となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業収益(売上高及び営業収入)は、2,219億86百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は42億27百万円(前年同期比12.7%増)、経常利益は45億18百万円(前年同期比14.6%増)、四半期純利益は13億45百万円(前年同期比18.7%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

#### ①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ49億32百万円増加し、1,436億16百万円となりました。

増減の内訳としては、流動資産では19億72百万円の増加であり、これは主に商品及び製品が15億44百万円増加したことによるものであります。

固定資産では29億59百万円の増加であり、これは主に建物及び構築物が34億8百万円増加した一方、土地が10億40百万円減少したことによるものであります。

#### ②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ49億8百万円増加し、653億91百万円となりました。

増減の内訳としては、流動負債では13億91百万円の減少であり、これは主に支払手形及び買掛金が21億44百万円増加した一方、短期借入金が24億98百万円、1年内返済予定の長期借入金が9億41百万円減少したことによるものであります。

固定負債では62億99百万円の増加であり、これは主に長期借入金が29億9百万円、社債が8億円、資産除去債務が6億93百万円増加したことによるものであります。

#### ③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、782億24百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億82百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が1億57百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の業績予想につきましては、当第3四半期の業績を踏まえ検討した結果、現時点においては平成23年4月4日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実施棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

① 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

② 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ23百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は291百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は669百万円であります。

(表示方法の変更)

四半期連結損益計算書関係

前第3四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に含めて表示しておりました「固定資産売却益」は、特別利益総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の特別利益の「その他」に含まれる「固定資産売却益」は0百万円であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,602	14,732
受取手形及び売掛金	2,239	1,958
商品及び製品	11,333	9,788
その他	3,022	3,744
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	32,190	30,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,235	43,827
土地	36,164	37,205
その他(純額)	5,232	6,088
有形固定資産合計	88,632	87,121
無形固定資産		
のれん	1,196	1,728
その他	4,666	4,690
無形固定資産合計	5,863	6,418
投資その他の資産		
その他	17,383	15,420
貸倒引当金	△454	△495
投資その他の資産合計	16,929	14,925
固定資産合計	111,425	108,465
資産合計	143,616	138,683
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,214	15,069
短期借入金	12,120	14,618
1年内返済予定の長期借入金	2,577	3,518
その他	16,317	16,413
流動負債合計	48,228	49,619
固定負債		
社債	800	—
長期借入金	5,901	2,991
退職給付引当金	116	113
資産除去債務	693	—
その他	9,651	7,757
固定負債合計	17,163	10,863
負債合計	65,391	60,483

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,117	14,117
資本剰余金	15,024	15,024
利益剰余金	50,028	49,845
自己株式	△727	△719
株主資本合計	78,443	78,268
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△209	△52
繰延ヘッジ損益	△8	△16
評価・換算差額等合計	△218	△69
純資産合計	78,224	78,199
負債純資産合計	143,616	138,683

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)
売上高	206,187	214,553
売上原価	154,845	160,950
売上総利益	51,341	53,603
営業収入		
不動産賃貸収入	3,375	3,275
その他の営業収入	4,030	4,156
営業収入合計	7,405	7,432
営業総利益	58,747	61,035
販売費及び一般管理費	54,996	56,808
営業利益	3,751	4,227
営業外収益		
持分法による投資利益	58	82
受取手数料	260	275
その他	192	220
営業外収益合計	512	578
営業外費用		
支払利息	234	190
その他	85	96
営業外費用合計	320	287
経常利益	3,943	4,518
特別利益		
固定資産売却益	—	21
賃貸借契約解約益	32	15
その他	3	1
特別利益合計	35	37
特別損失		
固定資産除却損	145	147
減損損失	62	1,118
投資有価証券評価損	42	69
賃貸借契約解約損	151	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	268
その他	86	151
特別損失合計	487	1,755
税金等調整前四半期純利益	3,491	2,800
法人税等	1,837	1,455
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,345
四半期純利益	1,654	1,345

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。